

報道関係者各位

一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム

**2009年モバイルコンテンツ関連市場の合計は、1兆5,206億円**

**モバイルコンテンツ市場は、5,525億円**

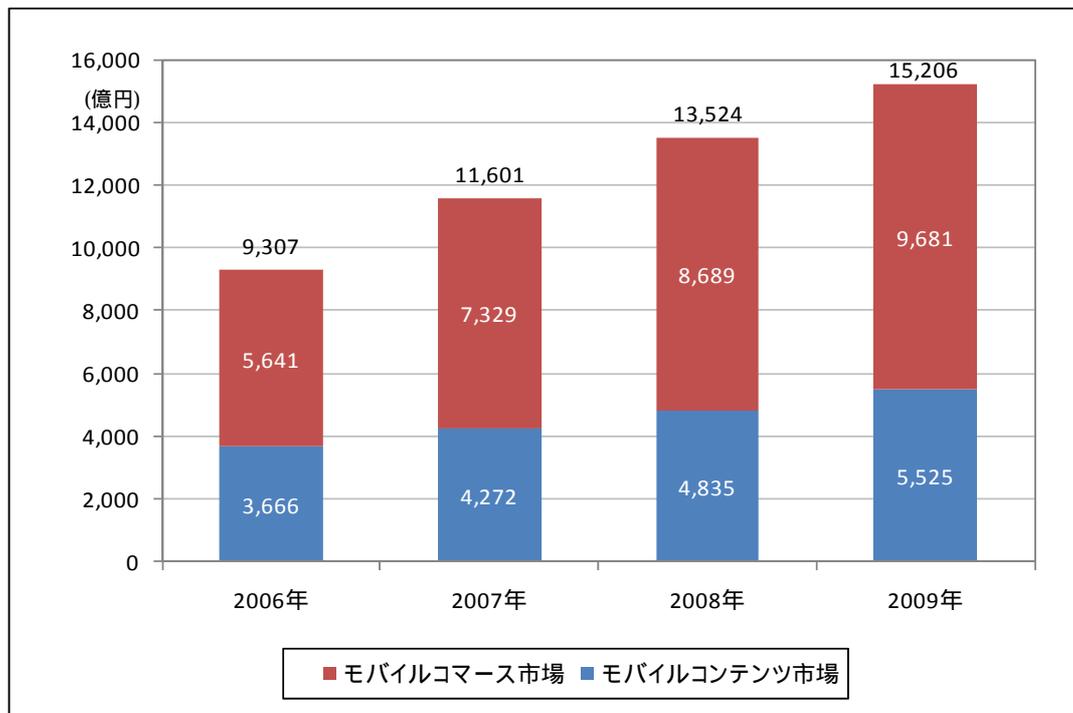
**モバイルコマース市場は、9,681億円**

(単位：億円)

市場カテゴリー	2006年	2007年	2008年	対前年比	2009年	対前年比
モバイルコンテンツ市場	3,666	4,272	4,835	113%	5,525	114%
モバイルコマース市場	5,641	7,329	8,689	119%	9,681	111%
モバイルコンテンツ関連市場	9,307	11,601	13,524	117%	15,206	112%

総務省発表資料 「2009年 モバイルコンテンツの産業構造実態に関する調査結果」

\*モバイル・コンテンツ・フォーラム調査



一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム（MCF）では2009年（1月～12月）のモバイルコンテンツ関連市場について市場規模調査を実施しました。モバイルコンテンツ関連市場として、着信音系、ゲーム系、電子書籍をはじめとしたデジタルコンテンツを有料配信する「モバイルコンテンツ市場」と、物販系、サービス系、トランザクション系の3分野で構成された「モバイルコマース市場」について結果を公表いたします。2009年の両市場をあわせた「モバイルコンテンツ関連市場」の合計は対前年比112%の1兆5,206億円となりました。

社団法人電気通信事業者協会によると、携帯電話の契約数は2010年5月末で1億1,319万契約、そのうちコンテンツの利用が可能なインターネット対応の携帯電話は9,370万契約となっています。また、第3世代（3G）携帯は1億1,050万契約と契約数全体の98%を占めております。

今回、市場規模には含まれておりませんが、この他のモバイルコンテンツ関連の市場分野としては、ピクチャー広告などの純広告と懸賞やノベルティでモバイルを利用した販促・キャンペーンなどを含んだ「モバイル広告・プロモーション市場」、モバイルコンテンツサイト構築、システム運営・管理を中心とした「モバイル・ソリューション市場」があります。

## 2009年モバイルコンテンツ市場は、5,525億円

「電子書籍市場」500億円、「アバター/アイテム販売」447億円

「動画専門市場」112億円

「芸能・エンタテインメント系市場」241億円、「メディア・情報系市場」66億円

(単位：億円)

	2006年	2007年	2008年	対前年比	2009年	対前年比
着メロ系市場	843	559	473	85%	402	85%
着うた系市場	759	1,074	1,190	111%	1,201	101%
(内訳) 着うた市場	(522)	(568)	(483)	85%	(432)	89%
(内訳) 着うたフル市場	(237)	(506)	(707)	140%	(769)	109%
モバイルゲーム市場	748	848	869	102%	884	102%
装飾メール市場	55	116	171	147%	228	133%
電子書籍市場	69	221	395	179%	500	127%
リングバクトーン市場	29	87	110	126%	115	105%
占い市場	158	182	200	110%	191	96%
待受系市場	248	227	229	101%	226	99%
きせかえ市場	3	23	64	278%	99	155%
天気/ニュース市場*1	63	73	78	107%	97	124%
交通情報市場*2	125	164	206	126%	241	117%
生活情報市場*3	45	54	77	143%	121	157%
アバター/アイテム販売(SNS等)*4	5	60	157	262%	447	285%
動画専門市場*5	24	36	62	172%	112	181%
芸能・エンタテインメント系市場*6	187	195	201	103%	241	120%
メディア・情報系市場*7	74	77	66	86%	66	100%
その他モバイルコンテンツ市場	231	276	287	104%	354	123%
モバイルコンテンツ市場合計	3,666*	4,272*	4,835	113%	5,525	114%

総務省発表資料 「2009年 モバイルコンテンツの産業構造実態に関する調査結果」

モバイル・コンテンツ・フォーラム調査

\*1 天気/ニュース市場 = 天気情報、時事、金融などのニュース

\*2 交通情報市場 = ナビゲーション/地図情報、乗換案内などの交通情報

\*3 生活情報市場 = 辞書、学習、健康情報等

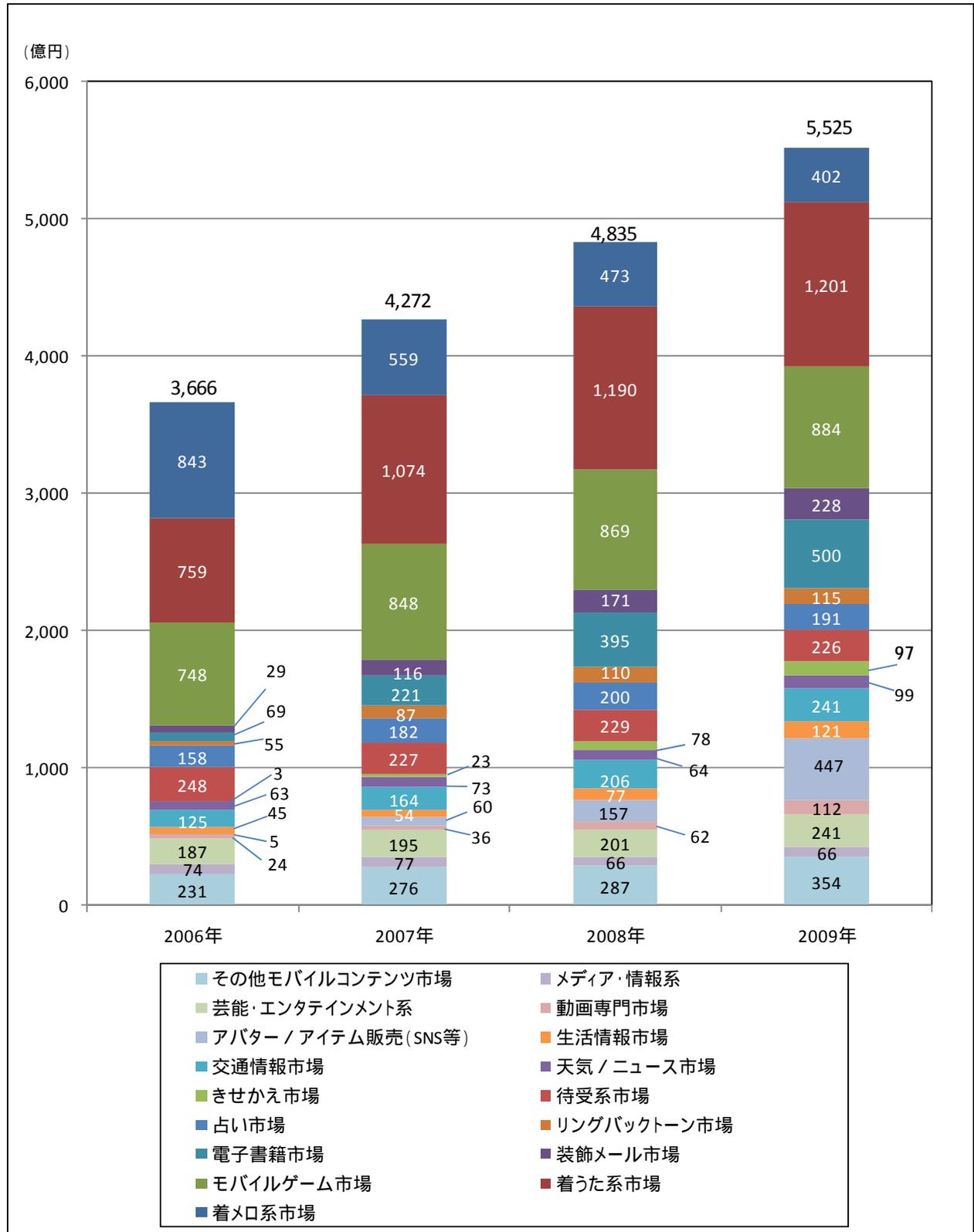
\*4 アバター/アイテム販売(SNS等) = SNS等での有料コンテンツの販売、アバターはコミュニケーションサイトなどで用いられるキャラクター、アイテムはSNSのゲームサイト等で購入可能な道具類

\*5 動画専門市場 = 動画コンテンツを専門に提供するサイト

\*6 芸能・エンタテインメント系市場 = 芸能プロダクションが提供するアーティスト情報や芸能ニュース、映画などの情報

\*7 メディア・情報系市場 = テレビ局やラジオ局、出版社などが運営している番組情報、雑誌情報など

## 2009年モバイルコンテンツ市場



携帯電話でデジタルコンテンツを有料配信する「モバイルコンテンツ市場」の 2009 年の市場規模は、対前年比 114%の 5,525 億円となっております。

今年も最大規模の市場は「着うた市場」「着うたフル市場」を合わせた「着うた系市場」で、1,201 億円となっておりますが、前年からの伸びをみると 101%と成長は鈍化しております。同様に「モバイルゲーム市場」も 884 億円とここ数年伸びはほとんど見られません。

2009 年に大きく成長しているのは「アバター/アイテム販売(SNS等)」市場となっております。コミュニケーション機能を生かしたソーシャルゲームが中心となって、フリーミアム的な新しいタイプのコンテンツ分野を開拓してきております。若年層だけでなく 30 代以上の年齢層にも広がる事で、昨年に引き続き 285%と急成長しており市場規模も 447 億円となっております。「電子書籍市場」は、昨年に続いて 127%とコミックを中心に好調が続ぎ、500 億円となっております。今後、専用端末や iPad 等の多様な端末の登場で電子書籍のラインナップが広がることが予想されており、モバイルにおいても新たな成長モデルの登場が期待されています。

その他成長性の高い市場としては、今回新たに発表した「動画専門市場」が 181%、112 億円と急成長してきております。これまで動画は権利処理コストや配信コストの負担が大きくビジネスモデルの構築が難しい分野になっておりましたが、端末の高機能化や定額視聴モデル、生中継等の新たなビジネスモデルの出現によって、動画コンテンツ市場が立ち上がってきました。また、昨年からの成長分野として「生活情報市場」が対前年比 157% (121 億円)、「きせかえ市場」が 155% (99 億円)、「装飾メール市場」が 133% (228 億円)、「天気/ニュース市場」が 124% (97 億円) と引き続き高い成長を示しております。

2009 年は「動画専門市場」の他に「芸能・エンタテインメント系市場」「メディア・情報系市場」のカテゴリーを新たに追加いたしました。

「芸能・エンタテインメント系市場」は芸能プロダクション等が提供するアーティスト情報や芸能ニュース、映画などの情報コンテンツが対象となっております。このカテゴリーでは、アーティストの待受画面や楽曲の視聴や、アーティストや芸能人に関連する様々なコンテンツを利用することが可能です。2009 年の市場規模は、241 億円となっております。

「メディア・情報系市場」はテレビ局やラジオ局、出版社などメディア企業が運営している番組情報・雑誌情報コンテンツの市場となります。テレビ放送されているドラマに関連した動画、待受などのコンテンツ、またテレビ局やラジオ局、出版社などの独自のキャラクターに関連するコンテンツが提供されているサイトです。2009 年は 66 億円となっております。

## 2009年モバイルコマース市場は、9,681億円

「物販系」は、4,248億円

「サービス系」は、3,891億円

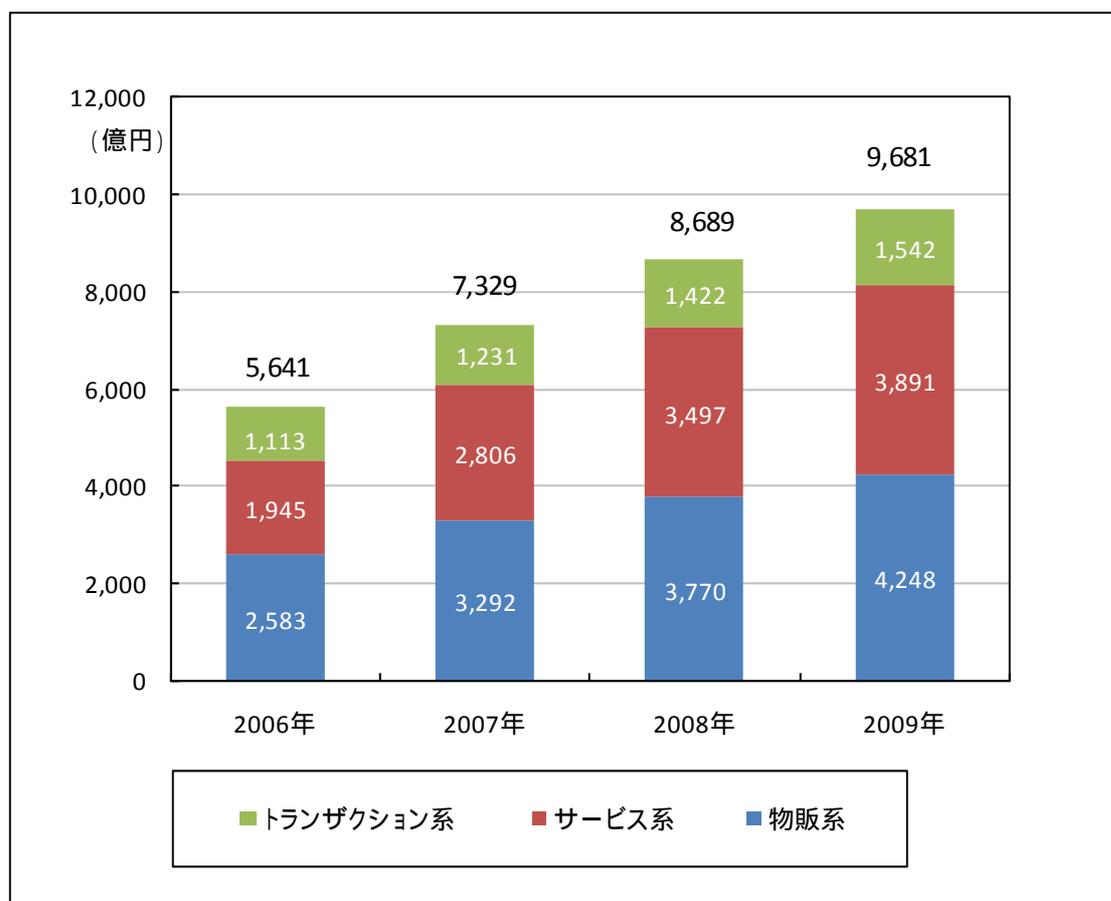
「トランザクション系」は、1,542億円

(単位：億円)

	2006年	2007年	2008年	対前年比	2009年	対前年比
物販系	2,583	3,292	3,770	115%	4,248	113%
サービス系	1,945	2,806	3,497	125%	3,891	111%
トランザクション系	1,113	1,231	1,422	116%	1,542	108%
モバイルコマース市場合計	5,641	7,329	8,689	119%	9,681	111%

総務省発表資料 「2009年 モバイルコンテンツの産業構造実態に関する調査結果」

\*モバイル・コンテンツ・フォーラム調査



「モバイルコマース市場」は、「物販系」(モバイル通販)、「サービス系」(興行チケット、旅行チケット、航空チケット、鉄道チケット)、「トランザクション系」(証券取引手数料、オークション手数料、公営競技手数料)の3分野に分類しております。3分野あわせた「モバイルコマース市場」は、対前年比111%の9,681億円となりました。

「物販系」では衣料品、本、CD、DVD、香水、雑貨、食品、家電などの物品を携帯電話上で販売しております。これまでリアル店舗での取引が中心であった小売業者もPCと同様にモバイルサイトを開設する動きが活発化してきており参入事業者の増加によって市場が拡大しております。また、リアル店舗を持つ強み等を活かし、カタログ、PC、モバイルとマルチチャネル展開し、顧客があらゆる場所から購入できるようにする事も一つのトレンドになっております。

「サービス系」に関しては、前年比111%の3,891億円となりました。これまでモバイルの特性を活かしたビジネスユースが旅行や交通系のチケット購入の中心でしたが、近年の傾向としては、レジャー目的の個人利用に広がっており引き続き順調に成長しております。

証券取引、公営競技、オークションなどの手数料収入を対象とした「トランザクション系」は、証券業界の売上の伸び悩み、また手数料の設定が安くなっていることが影響し、伸び率は減少したものの、公営競技でモバイル利用が広がったこともあり市場規模は拡大傾向にあります。

#### まとめ

2009年は、これまでモバイルコンテンツ市場を牽引してきた「着うた系市場」と「モバイルゲーム市場」の成長が鈍化して、ソーシャルゲームや電子書籍、動画といった新しいタイプのコンテンツへと成長分野が変化した年となりました。モバイルコマース市場に関してもマルチチャネル化によって参入事業者の増加が続くことで市場の拡大を後押ししております。

一方でiPhoneやAndroidケータイなど、オープンプラットフォームをベースにしたスマートフォンが登場し、モバイルコンテンツ関連市場を取り巻く環境は変化の波にさらされています。2009年のモバイルコンテンツ関連市場においては、このスマートフォン経由の市場規模はまだ小さく、今回の調査対象には含めておりませんが、今後ユーザー数の増加に伴い、スマートフォンにおけるモバイルコンテンツ関連市場は拡大していくと考えられます。

ユーザーのニーズに関しても、TwitterやUstreamといったリアルタイムコミュニケーションが拡大しており、そうしたニーズに最適なモバイル環境での利用は広がってくると考えられます。しかしながら、PCとモバイル、コンテンツのマッシュアップ化等、あらゆるものが融合する環境においては、これまでキャリアのプラットフォームによって成立してきたビジネスモデルに大きな影響を与えることが考えられるため、フリーミアムのような広告モデルと課金モデルの最適化をはじめとした新たな環境に対応した成長モデルの構築が求められております。

一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム（略称：MCF）  
モバイルコンテンツ環境の活性化のため、キャリア、メーカー、コンテンツプロバイダー等の企業が  
参加して 1999 年に設立された業界団体である。2009 年 4 月に一般社団法人化し、現在の会員はコ  
ンテンツプロバイダーを中心に 291 社である。 <http://www.mcf.to/>

本リリースに関するお問い合わせ先

一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム

ご連絡担当者 岸原孝昌、越賀真紀

東京都渋谷区東 3-22-8 サワダビル4F 〒150-0011

Tel:03-5468-5091 Fax:03-5468-1237

E-mail:[info@mcf.to](mailto:info@mcf.to) URL:<http://www.mcf.to/>

電話での連絡可能時間帯 10:00～19:00